

ヘッジファンド概況（2017年3月）

2017年4月

資産運用研究所
アナリスト
野首 文徳

当月（2017年3月）のヘッジファンドの資金動向やパフォーマンス概況は、以下のとおりである。（データの出所はユーリカヘッジ。資金動向はユーリカヘッジのデータベースのうち2017年4月17日時点で報告があった53.31%のファンドに基づく推計値であり、パフォーマンスは4月26日時点で取得したヘッジファンド・インデックスより作成。）

1. ヘッジファンドの資金動向

～3ヶ月連続で運用残高が増加～

当月は、ヘッジファンド全体で27億ドルの運用益が生じ、93億ドルの資金が純流入した。その結果、当月末の運用残高は、前月末から120億ドル増加し、2兆2,744億ドルとなった（図表1）。なお、運用残高の増加は3ヶ月連続となる。

戦略別にみると、運用益は株式ロング・ショート（32億ドルの運用益）が最も大きく、マルチ・ストラテジー（15億ドルの運用益）が続く。資金の純流入では、マネージドフューチャーズ（74億ドルの純流入）が最も大きく、運用益が最も大きかった株式ロング・ショートは35億ドルの純流出であった（図表2,3）。

投資地域別にみると、運用損益は北米が14億ドルの運用益となるなど、いずれの地域もプラスであった。資金の純流出では、純流出の続いていた欧州が15億ドルの純流入に転じるなど、いずれの地域も純流入となった（図表4,5）。

2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

～破綻債券のリターンが13ヶ月ぶりのマイナス～

ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスの直近1年間の戦略別パフォーマンス概況は以下のとおりである（図表6,7,8）。（インデックスの概要は巻末Appendixを参照）

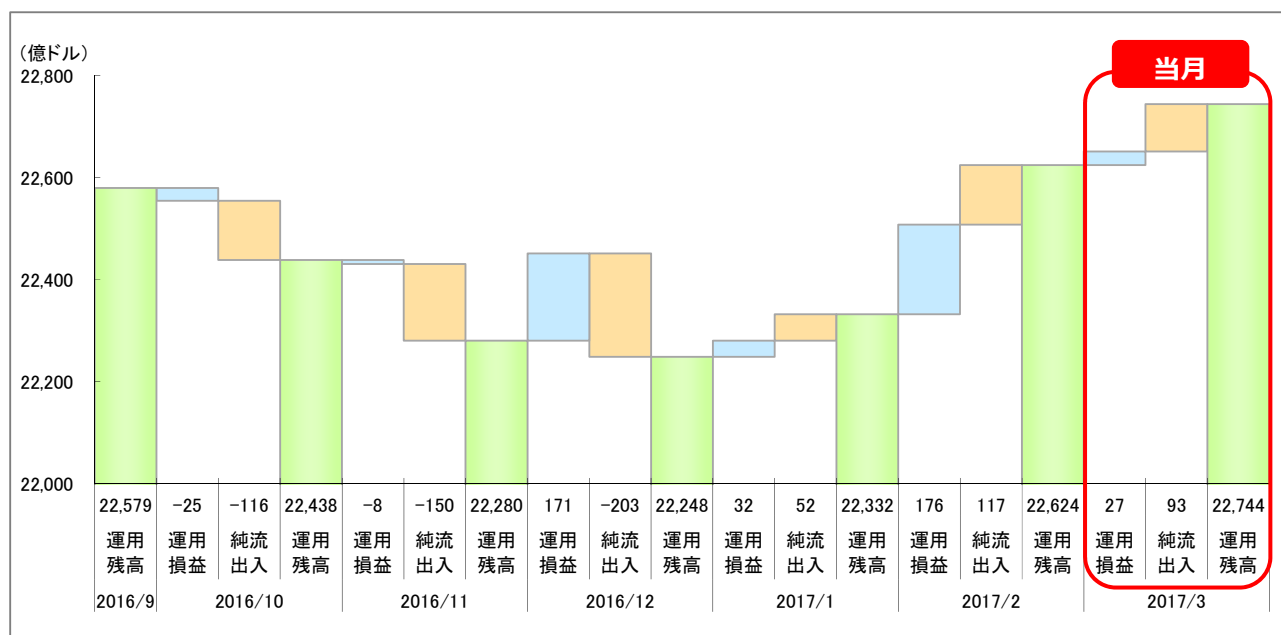
当月は9戦略のうち7戦略がプラスリターンであった。なかでも株式ロング・ショート（+1.01%）が最も大きく、アービトラージ（+0.54%）、債券アービトラージ（+0.45%）と続く。一方、12ヶ月連続でプラスリターンとなっていた破綻債券は、13ヶ月ぶりにマイナスリターン（-0.98%）となった。

※なお、この戦略別リターンに使用している指数は、単純平均で計算されているので、図表2の運用損益の符号と一致しないことがある。

1. ヘッジファンドの資金動向

図表 1 ヘッジファンド全体の資金動向

※グラフの見方：左から順に「前月末の運用残高」「該当月の運用損益」「該当月の純流出入」、左記3点を合計した「該当月末の運用残高」が並んでいる



(参考) ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスのリターン (%)

2016/10	2016/11	2016/12	2017/1	2017/2	2017/3
-0.30	0.27	0.88	0.87	1.04	0.42

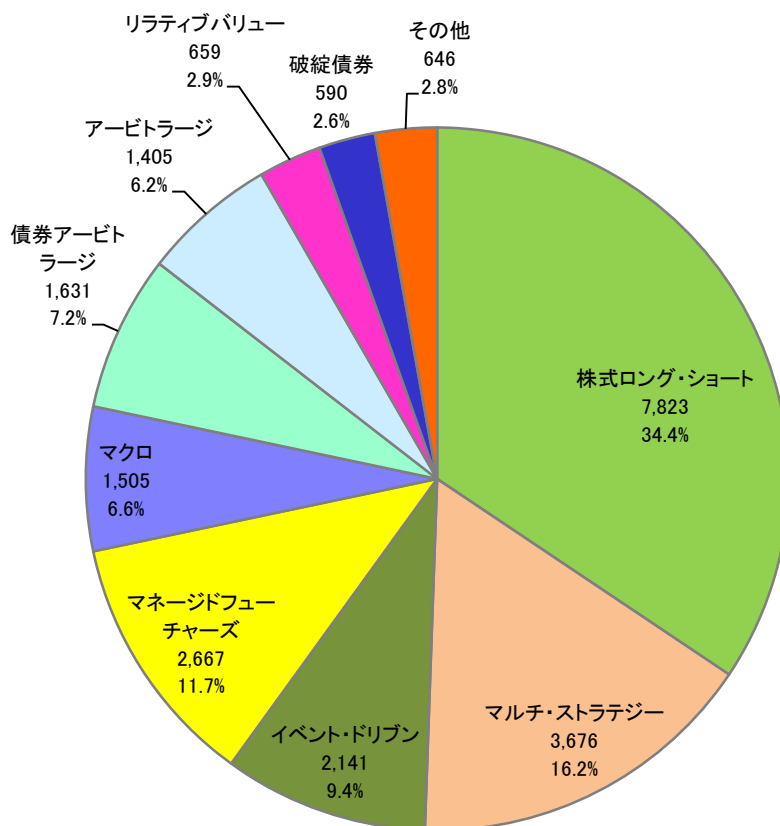
※ 当インデックスは単純平均で算出されている。

図表2 ヘッジファンドの戦略別資金動向

(億ドル)

投資戦略	3月末 運用残高 a + b + c	3月末 構成比	2月末 運用残高 a	3月中 運用損益 b	3月中 純流出入 c	運用損益+ 純流出入 b + c
株式ロング・ショート	7,823	34.4%	7,826	32	-35	-3
マルチ・ストラテジー	3,676	16.2%	3,627	15	35	50
イベント・ドリブン	2,141	9.4%	2,145	1	-5	-4
マネージドフューチャーズ	2,667	11.7%	2,615	-22	74	52
マクロ	1,505	6.6%	1,503	-0	2	2
債券アービトラージ	1,631	7.2%	1,607	2	22	24
アービトラージ	1,405	6.2%	1,398	1	7	8
リラティブバリュー	659	2.9%	661	-1	-1	-2
破綻債券	590	2.6%	600	-1	-8	-9
その他	646	2.8%	643	2	1	3
全体	22,744	100.0%	22,624	27	93	120

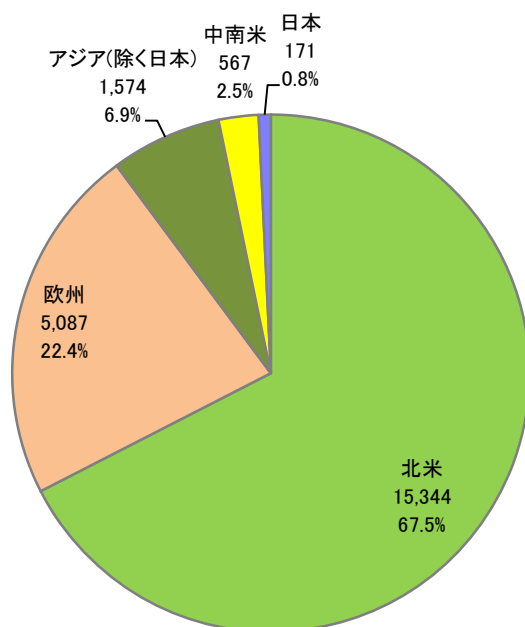
図表3 運用残高の戦略別構成比 (2017年3月末)



図表4 ヘッジファンドの投資地域別の資金動向

投資地域	(億ドル)					
	3月末 運用残高	3月末 構成比	2月末 運用残高	3月中 運用損益	3月中 純流出入	運用損益+ 純流出入
	a + b + c		a	b	c	b + c
北米	15,344	67.5%	15,260	14	70	85
欧州	5,087	22.4%	5,069	3	15	19
アジア(除く日本)	1,574	6.9%	1,564	9	1	10
中南米	567	2.5%	561	0	5	6
日本	171	0.8%	171	0	1	1
全体	22,744	100.0%	22,624	27	93	120

図表5 運用残高の投資地域別構成比 (2017年3月末)



2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

図表6 直近1年間の月次リターンの推移

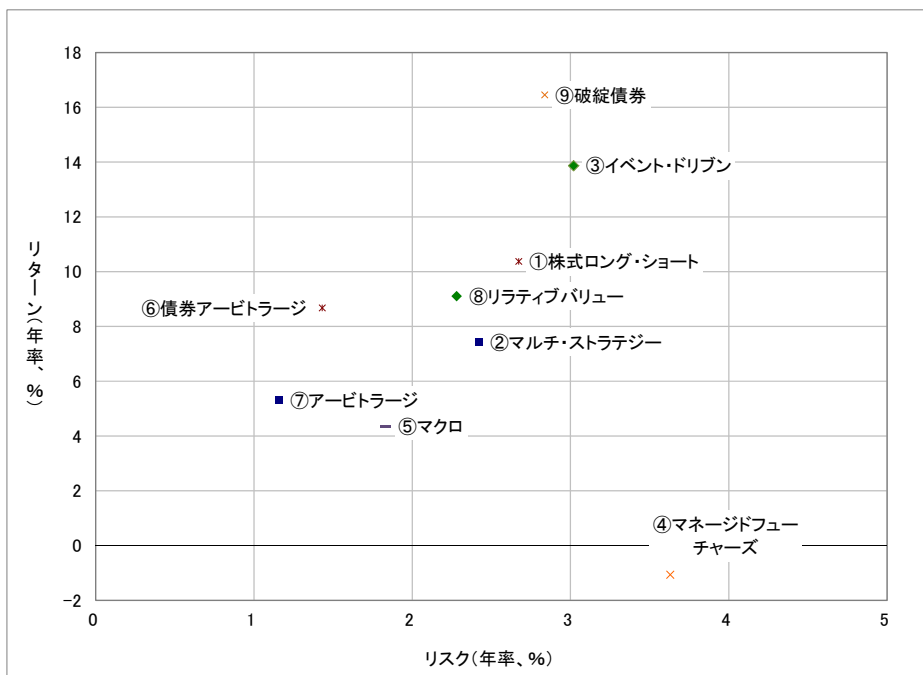
(%)

戦略	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2017	2017	2017	直近1年間	
	/4	/5	/6	/7	/8	/9	/10	/11	/12	/1	/2	/3	リターン	リスク	
①株式ロング・ショート	0.86	0.69	-0.63	2.32	0.83	0.99	-0.37	0.62	0.87	1.55	1.18	1.01	10.37	2.67	
②マルチ・ストラテジー	0.98	0.07	0.24	1.51	0.22	0.53	0.33	-0.64	0.81	0.86	2.03	0.29	7.43	2.42	
③イベント・ドリブン	1.69	1.18	-0.12	2.14	1.39	0.79	-0.66	1.41	1.87	2.00	1.11	0.29	13.86	3.02	
④マネージド・フューチャーズ	0.11	-0.48	2.31	0.54	-1.66	-0.22	-1.45	-0.11	0.54	-0.63	0.62	-0.58	-1.07	3.63	
⑤マクロ	0.84	-0.30	0.75	0.87	-0.25	-0.21	0.08	0.28	1.32	0.11	0.72	0.07	4.35	1.83	
⑥債券アービトラージ	1.14	0.58	0.49	1.29	0.89	0.41	0.46	-0.22	1.00	0.96	0.90	0.45	8.68	1.43	
⑦アービトラージ	0.53	1.00	-0.35	0.69	0.60	0.56	0.06	0.44	0.27	0.37	0.47	0.54	5.30	1.16	
⑧リラティブバリュー	1.77	0.66	0.45	1.93	0.87	0.42	-0.47	0.73	0.48	1.19	0.57	0.17	9.10	2.28	
⑨破綻債券	1.79	2.32	0.56	1.45	1.37	1.18	1.42	1.41	1.62	1.68	1.55	-0.98	16.45	2.84	
⑩TOPIX(配当込)	-0.49	2.93	-9.59	6.18	0.55	0.34	5.31	5.49	3.47	0.22	0.94	-0.59	14.69	14.51	

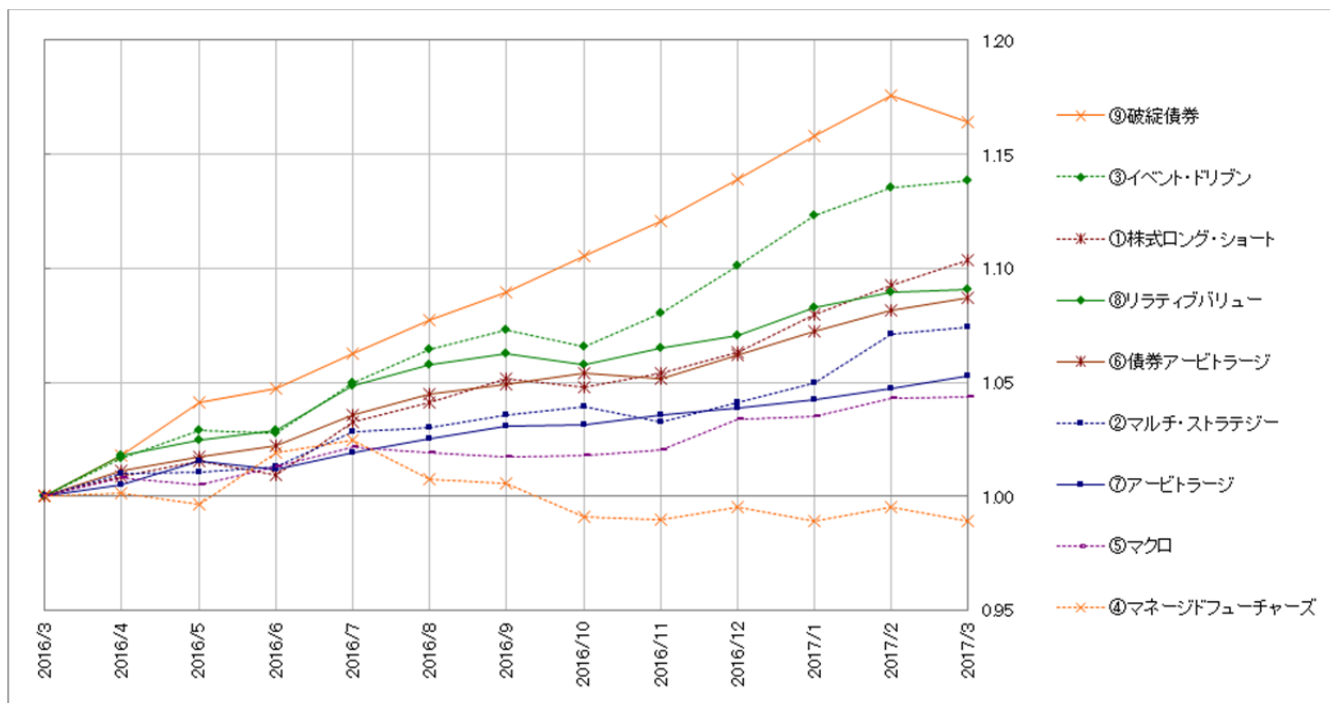
図表7 直近1年間のリターン・リスク (2017年3月末)

戦略	リターン (%)		リスク (%)		リターン/リスク比	
	順位	順位	順位	順位	順位	順位
①株式ロング・ショート	10.37	3	2.67	3.88	6	
②マルチ・ストラテジー	7.43	6	2.42	3.07	7	
③イベント・ドリブン	13.86	2	3.02	4.59	3	
④マネージドフューチャーズ	-1.07	9	3.63	-0.29	9	
⑤マクロ	4.35	8	1.83	2.37	8	
⑥債券アービトラージ	8.68	5	1.43	6.06	1	
⑦アービトラージ	5.30	7	1.16	4.58	4	
⑧リラティブバリュー	9.10	4	2.28	3.99	5	
⑨破綻債券	16.45	1	2.84	5.80	2	

(分析期間) 2016年4月～2017年3月の月次リターンデータ



図表8 直近1年間の指数の推移 (2016年3月末 = 1.0)



※ 図表 1～5,7,8 はユーリカヘッジより日興リサーチセンター作成
 ※ 図表 6 はユーリカヘッジ、トムソンロイターより日興リサーチセンター作成
 ※ 分析には 2016 年 4 月～2017 年 3 月の月次リターンデータを使用

Appendix

- ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックス (Eurekahedge Hedge Fund Indices) は、ユーリカヘッジが保有するヘッジファンド・データベースのファンドを組入れている。
- この指数には 10 本の戦略別サブインデックスがあり、各戦略の概要は以下のとおりである。

アービトラージ (Arbitrage)

異なる市場において、同一商品の価格が異なるという市場の非効率性を利用し利益を上げる戦略。

マネージドフューチャーズ (CTA / Managed Futures)

商品先物、オプション、先物為替取引に直接または商品投資顧問業者を仲介し投資する戦略。

破綻債券 (Distressed Debt)

財務、もしくは経営面で困難に陥った企業の債券に投資し、その後の企業の信用力回復に伴う債券価格の上昇から利益を上げる戦略。

イベント・ドリブン (Event Driven)

近い将来に予想される、もしくは起きる可能性のある企業の合併、公募増資、買収などのイベントを利用した戦略。

債券アービトラージ (Fixed Income)

フィックスド・インカム証券とそのデリバティブ商品においてロングとショートのポジションを組み合わせる戦略。

株式ロング・ショート (Long / Short Equities)

価格が上がる見込みの株式をロングし、逆に下がりそうな株式をショートし、相場のトレンドに左右されずに利益を上げる戦略。

マクロ (Macro)

トップダウン型のマクロ的な視野 (金利や通貨など) に基づいて投資ポジションを取る戦略。

マルチ・ストラテジー (Multi-Strategy)

複数の投資戦略を組み合わせた戦略。

リラティブバリュー (Relative Value)

アセット間のミスプライスを利用し、低リスクで収益を追求する戦略。

その他 (Others)

他のヘッジファンド戦略で使用されている多様な投資機会にアロケーションを行う戦略。

«以下にユーリカヘッジの免責事項を引用する»

Eurekahedge(“ユーリカヘッジ”)のデータは、各運用機関及び外部の情報を元に作成しております。ユーリカヘッジ及びその関係者は情報の正確性、完全性、市場性、仮定、計算などについて保証を行っておりません。情報の閲覧・利用者は、データの使用に際して、情報における全てのリスクを認識し、負う必要があります。ユーリカヘッジではデータ及び情報に基づくいかなる理由の損害に関しても責任を負いかねます。データは、特定のファンド、有価証券、または金融商品、企業への投資に関する勧誘或いは販売勧誘を構成するものではなく、また、金融機関や専門家としての助言として解釈されるべきではありません。Copyright © 2011 Eurekahedge Pte Ltd